

サンガーデン便り

令和3年8月号



苫小牧市サンガーデン

〒053-0011

苫小牧市末広町3丁目1番15号

☎0144-33-4411

<館内の見どころ>

ブーゲンビレア、バラ、アジサイ、プランターの草花などがきれいに咲いています。イチジク、甘夏、温州ミカン、柿、バナナ（温室）などの果実を観察できます。

<園芸講座・展示会について>

★8月28日（土）木育ワールド「ファーストスプーンづくり」、午前10時～12時、3歳未満の子供がいる保護者、5人、受け付け開始8月1日午前9時30分から、サンガーデン 0144-33-4411 まで

<8月の園芸作業>

8月も高温多照が予報されています。コンテナや鉢物の水不足に注意しましょう。

★家庭菜園 ナスやピーマンは枝先が水平より下ると花芽が付きにくくなるので、整枝と共に枝を上向きに誘引してあげましょう。長期に連続して収穫する野菜は、「なり疲れ」し弱ることがあるので、生育を見ながら追肥してあげましょう。ジャガイモはオオニジュウヤホシテントウの食害や降雨後の疫病に注意しましょう。イチゴは去年秋または今春定植した新しい株なら、ランナーから苗がつくれます。ランナーが見えてきたら、土を詰めた3号ポットを用意し、U字に曲げた針金でポットに固定し発根させます。葉が5枚くらいになった元気な苗を8月下旬～9月中旬に定植します。漬物や貯蔵用のダイコン、ハクサイなどの種まきは8月上旬に済ませます。害虫の食害を防ぐため、播き溝に粒状の殺虫剤を施用するか、不織布を本葉3～4枚頃までかけると良いでしょう。

★バラ・草花 バラは花が終わったら、葉が5枚ある花枝の上で剪定し、追肥をします。地際から勢いよく伸びた新梢は、全体の長さの半分で切り詰めます。葉に出る黒星病に注意し、病気の葉を見つけたら早急に摘み取り、薬剤防除を行います。花壇やプランターの草花は、成長とともに草姿が乱れ先端にしか花がつ

かなくなりますので、思い切って切り戻しを行ってみましょう。花は一時休みますが、肥料や水やりを続けると再び側枝が伸びて花をたくさんつけます。

★洋ラン 夏場の高温と日照で株が最も充実する時期です。シンビジウムとデンドロビウム（ノビル系）は徐々に戸外の光に慣らして直射日光下で、これ以外の洋ランは半日陰に置き戸外で育てられます。液肥や置き肥も忘れずに行いましょう。

★芝生 7～10日おきに草丈25～30mmで芝刈りをしましょう。5～9月末にかけて、月に1回、1回当たり窒素成分量で2～4g/m²（化成肥料で30～40g/m²）を施し、肥やけしないようすぐに散水しておきます。芝生は乾燥しすぎると、水の浸透が悪くなるので、コアリング（穴あけ）作業を行い散水すると良いでしょう。

★果樹 リンゴ、プラム、プルーンなどの果樹は、天に向かってまっすぐ伸びる徒長枝の選定を行いましょう。根元から切除するか、2節ほど残し短く剪定し、陽当たりと風通しを良くします。



<苫小牧の気象>

8月の太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多く、気温はかなり高い日が続く予報です。降水量は、平年並～やや少なく、日照時間は、平年並～やや多い予報です。熱中症にご注意ください。

